



校長通信

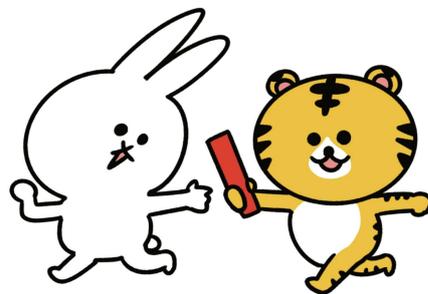
令和4年度26号 令和5年1月6日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

明けましておめでとうございます。お正月は、比較的穏やかな天候で、初詣に行かれたご家族も多かったのではないのでしょうか。

相変わらず、新型コロナウイルスの罹患者数は、あまり減少せず、高止まりの状況です。ただ、この春くらいから感染症分類の2類から5類に切り替えることも検討されているなど、新たな動きも見せています。

学校では、国の動向に注視しつつ、感染予防対策を徹底しながら、できる限り通常の教育活動を実施していきたいと考えています。3学期も、どうかよろしくお願いします。



《吹奏楽部がアンサンブルコンテストに出場！》

12月26日、和歌山城ホール小ホールにおいて、和歌山市中学校アンサンブルコンテストが開催され、本校吹奏楽部が出場し、ジークフリートを見事に演奏しました。ホール内に6重奏がきれいに響いて、本当にすばらしかったです。私は、音楽は素人ですが、9月の定期演奏会、11月の文化祭と、吹奏楽部の演奏を聞いて来て、練習の成果が出て、今回、更にすばらしい演奏に仕上がっていたように思いました。努力の甲斐が報われました。吹奏楽部のみなさん、おつかれさまでした。



《ある和歌山市民から、学校にうれしい電話が・・・》

12月26日、ある和歌山市民の方から、学校にお電話がありました。河北中学校区内で、道に迷っていたところ、河北中学校の生徒が、親切に道を教えてくれた。たいへん、うれしかった。その生徒の名前は聞けなかったが、学校で、その生徒が確認出来たら、ぜひお礼の言葉を伝えてほしいとのことでした。本当にうれしい電話でした。

1学期の始業式で、私は生徒たちに、「地域の方々は、生徒一人一人を河北中学校の生徒として、見守ってくれている。母校に誇りをもって、地域の方々からも愛されるすばらし学校にしていこう」と、話しました。このことが、実現したよき例となりました。

情けは人のためならず。人に親切にすれば、その親切にした相手のためだけでなく、やがてはよい報いとなって自分に戻ってきます。困っている方がおられたら、親切に対応する生徒がこれから更に増えてくれたら、うれしいと思います。